

縁えにし

vol.14
2023 WINTER



職員旅行 軽井沢にて(職員の子どもも一緒に)



送別会にて深石と



医院前にて 椿

視能訓練士(ORT)という仕事は眼科医にとって無くてはならない職業であることを知っている患者さんは多くないと思います。ORTの第一号は順天堂大学に在籍されていた川村緑さんで、当時、小児の斜視検査や日本で使用され始めたばかりのコンタクトレンズを装用するための検査など、眼科医の手足となつて助けて頂いた記憶があります。

1977年、日本での第二陣として新潟市に新潟医療技術専門学校が開校し、ORTを養成するための「視能訓練士科」が開設され1980年に第一期生が卒業しました。その卒業生の中に高田出身の深石寿美子と椿朋子があり、亡き父は「これからの眼科医療には看護師と同じくらい重要になる」と2人を採用しました。

この30年間眼科医療は超速の進歩があり、父から石田眼科を継承し現在に至るまで最先端の医療に取り残されないよう、また大病院に引けをとらないよう診療器械を導入する事を心がけてきました。

2人をはじめ当院のORTには全国の一流病院を見学してもらい様々な器械を勉強し対応してもらいました。「石田眼科に無い眼科検査器械あった?」と聞く「全部あります。石田眼科にはそれ以上に器械が揃っています。」と誇らしい顔で言ってくれた事を記憶しています。この2人のORTから始まり現在は分院系魚川クリニックを含め14人となり、県下の施設では最多の数となりました。

深石と椿は海軍軍医であった厳しい二代目の父のもとで、息子学(現副院長)が生まれる前から44年間当院の為に本当に良く尽くしてくれたと思います。もはや2人は家族と同じ存在です。そのような2人ですが、昔は嫁ぐ際には石田眼科の前で記念撮影を行ってから式場に向かったとのこと。写真「企業は人なり」と故松下幸之助氏が言われた如く、医療も医療従事者の一致団結した協力One for All, All for Oneの精神のもと、2人は石田眼科 one team 随一の同志達です。

ありがとうございます。

石田眼科院長 石田 誠夫

企業は人なり 44年間当院とともに ただ感謝あるのみ



行事報告 [2月~7月]

2月 2/24 上越臨床眼科フォーラム

新潟大学大学院医歯学総合研究科眼科学
准教授 赤木忠道先生 「最近の緑内障治療」

4月 4/6~9
日本眼科学会総会(東京)



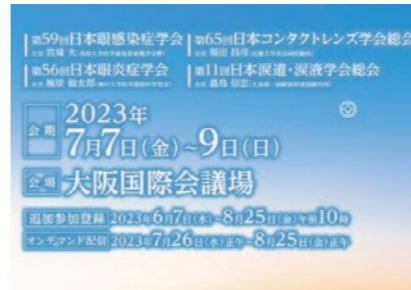
石田院長、看護師1名、ORT1名参加

6月 6/16~17
第79回日本弱視斜視学会総会、
第48回日本小児眼科学会総会(仙台)



松木医師、ORT1名参加

7月 7/7~9
眼科フォーサム2023大阪



松木医師参加

4月 4/14 上越臨床眼科フォーラム

川崎医科大学眼科学2 教授 長谷部聡先生
「眼鏡学UP-DATE 処方のコツから近視予防まで」

6月 6/1
永年勤続表彰



勤続30年2名、勤続10年3名

7月 7/1
ホームページリニューアル



6月 6/22~24
JSCRS学術総会(札幌)



石田副院長、ORT2名参加



7月から当院のホームページ
がリニューアルされました。是非
一度ご覧になってください。

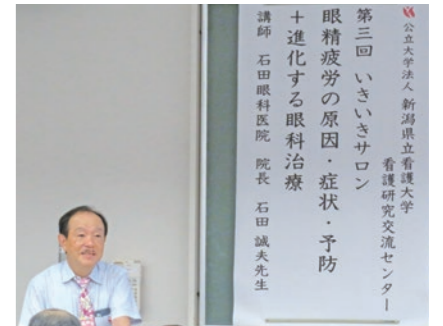


7月 7/14
第46回上越臨床眼科フォーラム



東京大学医学部眼科学教室准教授 本庄恵
先生「どう使う?いつ使う?グラアルファと
多剤併用療法の考え方」

7月 7/20
第3回いきいきサロン



「眼精疲労の原因・症状・予防+進化する
眼科治療」新潟県立看護大学の講師として
石田院長が講演しました。

専門外来のご案内 [12月、1月、2月]

日程は変更になる場合があります。
なお、専門外来は予約制となっております。詳しくはスタッフにお尋ねください。

網膜硝子体専門外来

順天堂大学練馬病院 眼科特任教授 横山 利幸先生 12/8、1/12、2/16

京都府立医科大学附属病院 眼科 寺尾 信宏先生 12/1、1/12、2/2

米田医師他 12/9、1/13、2/10、2/24

緑内障専門外来

日本赤十字社医療センター 前眼科部長 濱中 輝彦先生 12/14

東京大学医学部附属病院 眼科教授 相原 一先生 1/27

小児眼科、斜視、視神経専門外来

順天堂大学練馬病院 眼科特任教授 横山 利幸先生 12/8、1/12、2/16

角膜屈折矯正専門外来

聖路加国際病院 顧問 山口 達夫先生 12/23、1/20、2/17

国立長寿医療研究センター病院 眼科部長 稲富 勉先生 1/6

眼形成・涙嚢専門外来

東邦大学医療センター大橋病院 非常勤講師 矢部 比呂夫先生 1/25

京都府立医科大学 眼科助教 渡辺 彰英先生 2/17

富山大学附属病院 眼科准教授 柚木 達也先生 12/16、1/20

近視を治す事を夢見て

眼鏡・コンタクトから解放する

石田眼科院長 石田 誠夫

1950年、順天堂大学故佐藤勉教授は角膜前後面切開で近視を治す事ができることを世界で初めて試み注目され全国から数多くの患者さんで大学の外来があふれるように集まったと言われています。ただ合併症も多数見られたため数年で中止になったとのことです。その後、手技を変法したソビエトのフィオドロフが角膜放射状前面切開で近視矯正を多症例施行しましたが正確性に欠け発展しませんでした。

アメリカでの恩師アクアヴェラ先生は私の留学時代1979年からすでに近視・乱視をエキシマレーザーで治す事を考えていました。1985年にフロリダ州でサミット社のエキシマレーザーの講習会があり渡米し角膜を正確に切除する事で近視が治せる実感を得ました。その後、韓国釜山の親しい友人の聖母眼科病院院長 李先生がアジアではナンバーワンの屈折矯正専門家であったことから何度かスタッフを連れ



1994年2月 釜山にて李先生と



釜山 聖母眼科病院を見学

て見学させてもらい、基礎作りをしてから新潟県で最初にエキシマレーザーを導入しました。

その後角膜フラップを作成してからエキシマレーザーを行うレーシック技術が開発され、痛みなく早期に視力回復する事が発表されました。この手法を習得するため、1999年にテキサス州ガルベ斯顿での技術講習会に元聖路加国際病院眼科部長山口達夫先生と一緒に参加し当時必要とされていたライセンス

を取得しました。しかしその後、営利目的の眼科医もしくは非眼科医が知識もライセンスもな



エキシマレーザー-Quest™-M2



1999年3月 テキサス州ガルベ斯顿にて山口先生と

いままに行つたために、時に大きな合併症を生じたこともあつて一時的に衰退していきまし

た。その結果、現在は本当の屈折矯正の専門施設だけが生き残り存続しています。

レーシック手術にはフラップ作成が必要になりますが、その際に色々な事故がおきました。2012年より従来のメスからフェムトセカンドレーザーを使用することで安全かつ正確なフラップを作成する画期的な技術が開発されました。このレーザー機器は高価でありましたが日本海側で最初に導入し、最先端の技術で近視・乱視を治す事がより安全に正確で良好な結果を得ています。(左ページ)

レーシックでは対応ができなくなりま



iFSフェムトセカンドレーザー

す。このような患者さんには直接眼内にレンズを挿入するICLという技術で矯正可能になりました。私は当初このICLには反対でしたが、レンズの改善で今はほとんど合併症がなくなり安全に術後に視力が出る利点があります。ただし患者さんが年を取ってき

最新眼科医療器機紹介



Corvis® ST OCULUS社製

- ・非接触型の空気眼圧計。(県下で最初に導入)
- ・普通の空気眼圧計とは違い、空気を角膜に吹き付けた瞬間を高速シャインブルーカメラでとらえ、角膜の変化を撮影し計測。
- ・ペンタカムとの連動で円錐角膜および角膜拡張症を検出可能。
- ・クロスリンク効果の観察、屈折矯正予測精度の向上、円錐角膜リスク、緑内障リスクの特定にも応用可能。

最先端の治療で多くの患者さんがコンタクトレンズや眼鏡から解放されています

イントラレーシック

イントラレーシックとはフェムトセカンドレーザー、エキシマレーザーを使用します。OPDの正確なデータをレーザーに入力するので、より正確に視力を矯正出来る方法です。

・15名29眼 平均年齢31.7歳(21歳～52歳)

治療前視力

平均 0.07

治療後視力

平均 1.2

(令和5年1月～6月)

ICL手術 [有水晶体眼内レンズ]

当院ではICL(有水晶体眼内レンズ)手術も始めました。イントラレーシックでは適応外の強度近視の方にも適していますので、興味のある方はお気軽にお尋ね下さい。

・7名14眼 平均年齢35.1歳(27歳～40歳)

治療前(平均)

視力 近視度数
0.04 -8.0D

治療後(平均)

視力 近視度数
1.2 +0.5D

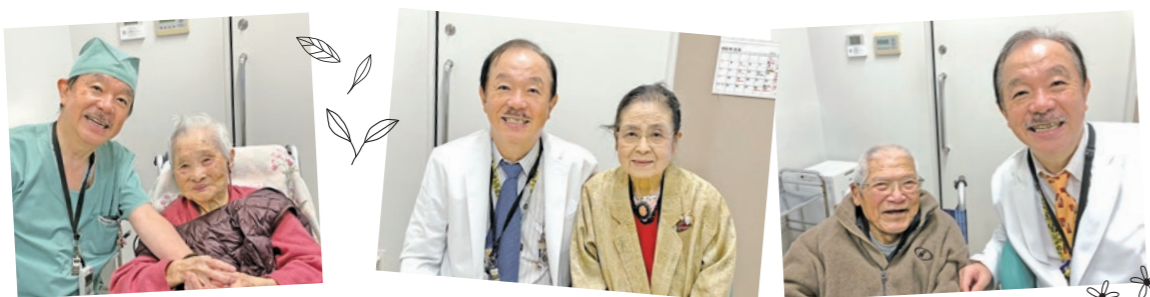
(令和5年1月～6月)

イントラレーシックは県内では当院のみ、ICL手術は県内では当院を含め3施設のみ治療を行っております。

説明用ビデオを院内で放映中。貸し出しもしています。是非ご覧下さい。興味のある方は **無料説明会開催中**

絆

100歳を超えて通院してきてくれている患者さんとともに



2022年手術件数報告 (2022年1月～12月)

● 白内障手術	1496件	● 外眼部手術	25件
● 緑内障手術	109件	● 眼瞼下垂手術	174件
● 角膜移植	10件	● 斜視	7件
● 網膜硝子体手術	231件	● 涙嚢鼻腔吻合術	4件
● 翼状片	40件	● 硝子体注入	808件

● その他	116件
● 屈折矯正治療	98件
イントラレーシック、PRK、PTK、タッチアップ	55件
ICL(有水晶体眼内レンズ)	36件
クロスリンク	7件
(計)	3118件